

広島大学（医・医）、愛知医科大学（医・医）合格

Y・N君（東海高）

僕は東海高校を卒業し、いとこの紹介でKGSを知り一年間この塾で学ぶことになりました。正直最初は葛原先生の体調が悪い時期があったり授業中も忙しそうにいろいろな対応をこなしておられる様子を見て不安になることもありました。それでもコロナの時期を乗り越えて授業は少し遅れながらも順調に進みました。間違いなく先生方のご尽力の賜物です。感謝しています。

僕は今年のセンター試験で大失敗して得点率は7割という数字をたたき出しました。今思えば少し舐めていたのかもしれませんが。今年は元々そこそこ得意だった理系科目に加え英語などの文系科目にも力をいれて学習しました。それでも共通テストの英語の出題傾向の変化に対応することはできませんでしたが昨年よりも100点以上高い点数を取ることができました。これは自分の努力が実を結んだのだと思っています。

ボーダーぎりぎりの点数でしたが得意の理科を活かすため広島大学を受験することにしたのですが、受験後の感覚は最悪でした。得意の化学は自信がなく、物理と数学は煩雑な計算をしたのに見直しをする時間が取れず、英語は傾向がガラッと変わったせいでもうぐちゃぐちゃでした。完全に終わったとも思いましたが結局合格することができました。一年間の積み重ねで力が増していたからこそだと思っています。

努力云々などと言ってきましたが正直僕は地道な努力が得意ではありません。何かを継続することができない人です。日記も英単語も参考書も全部すぐやめてしまったり、集中力が続かず自習室で動画を見たりしていたこともありました。しかし、一度「短い時間でいい、5分、10分でいいから勉強つまらない」という感情を封印して勉強をする」と決めたら確実にやる人でした。自分との約束は絶対です。そこだけはプライドをもって守り通すことをお勧めします。KGSでの僕たちの代には刈谷高校のY君という人がいて、彼が成績を上げるせいで負けられないという気持ちが強まりました。よく一緒にラーメンを食べに行ったりして、本当に良い友に恵まれました。ほかにも親友と呼べる仲間が数人できて、これほど充実した一年はこれまでなかったと思うほどです。

最後に、浪人生活は思うほどつらいものではありません。肩の力を抜いて「自分は受かる」と言い聞かせて臨んでください。」次の浪人生たちへ、あなたたちのこれからの一年間は何も無駄ではありません。僕の座右の銘は「ノリで乗り切る」です。がんばってください。

浜松医科大学（医・医）合格

H・H君（旭丘高）

1800km、これはおよそ稚内 - 鹿児島間の距離である。この距離を僕は今年の2月から前期試験終了の日まで走ってきた。2月から6月までは学校の周囲を7周、6月から11月までは5周、11月から前期試験終了の日までは2周、半袖・半ズボンで、しかも12月からは1日も休まず走ってきた。雪の日も、共通テスト当日も半袖・半ズボンで走った。バカだと思う人もいるかもしれないが、僕は走ることでしか苦しい受験勉強の中で自分を保つことができなかった。2週間勉強しただけで僕が半年間勉強してきた古漢の点数を上回ってくる者、僕の半分以下しか勉強していないのに僕に70点以上も差をつけ見下してくる者、僕よりもはるかに長時間勉強する僕の親友、こんな人たちと自分を比較すると否が応でも自分の才能のなさ、無力さを感じてしまう。だから僕は走った。両親からは走るのはやめた方が良いと何度も言われたが、僕は走ることが合格への一番の近道であると思っていた。

なぜなら、受験には根性と体力、そして自信が必要だからだ。僕は毎晩KGSから帰宅した後、道路に倒れこんで動けなくなるくらい自分を追い込んだ。この辛い日々を積み重ねたことが何よりも受験当日の自分の背中を押してくれたと思う。

KGSでは数学の授業と自習室でお世話になった。数学では自分の苦手な記述式の問題に数多くあたることができ、添削指導で細かく修正していただいたおかげで自信がもてるようになった。また、葛原先生の解説は非常にわかりやすく、授業内でほぼ完全に理解することができたので復習も効率的に行うことができた。

また、自習室は非常に充実していたと思う。僕はAM8：00～PM11：00まで、直前期は深夜12：00まで使用していた。集中力がなく根性だけはあった僕には最高の環境だったと思う。

僕の受験勉強ではたくさんの人たちが背中を押してくれた。浜松医科大学を受験することには賛成ではないと言いながらなんだかんだと応援してくれた葛原先生、苦手なリスニングの対策をしてくれた玉村先生、けんかしながらも共に支えあって勉強を続けてきた親友、そして僕の合格を泣いて喜んでくれる家族がいたからこそがんばることができたと思う。

つたない文章になってしまったが、とにかく僕を応援してくれたすべての人たちに感謝の気持ちを伝えたい。ありがとうございました。